

新型コロナウイルスと大学 —新しい大学像への模索—

学長
笠原清志

新型コロナウイルスの影響により、跡見学園女子大学では卒業式と入学式を共に中止しました。新入生、保証人の皆様の気持ちを考えると大変申し訳なく思いますが、諸般の事情を考慮した苦渋の選択であったことをご理解ください。今、私たちは不確実性の時代を生きると共に、他方で新しい生き方と社会システムのあり方を求めて呻吟しています。今回のことが教職員、学生の皆さんも含め、「今、日本と世界で何が起きているのだろうか」「自分はこれからどう生きていくべきなのか」といった事を考えるきっかけになればと願っています。

1) 大学の閉鎖

昨年の12月上旬に、中国の武漢でウイルス感染が発生した事を知らせるニュースを聞いた記憶があります。しかし、それは中国の遠い一都市での出来事であり、私たち日本人の誰もが自分の生活に被害が及ぶとは、ましてやこのウイルス禍がパンデミックになり、世界を恐怖と不安のどん底に追いやることになるとは想像すらできなかったと思います。武漢のニュースから2、3ヶ月後には、この新型肺炎ウイルスは世界に拡散し、日本でもすべての学校と大学の授業や行事が中止となりました。企業や工場もその活動が制約され、4月7日には緊急事態宣言が発せられ、街から人が消えて大学も閉鎖されました。

2) オンライン教育の実施

跡見学園女子大学では、春期授業スタートは5月11日より、それも全ての授業をオンライン教育で実施する事が決まりました。大学が閉鎖されている以上、授業はインターネットを介した遠隔授業で行う以外になく、ほぼ一ヶ月半の準備期間でオンライン教育に移行しました。語学から情報科目、そして体育も含む実技科目の一部もオンラインで行う事になりました。跡見学園女子大学の伝統的教養科目である茶道、華道、そして香道もオンラインで授業ができないか検討されました。その結果、香道は無理でしたが茶道や華道は工夫努力してもらい、オンライン教育で実施するか秋学期開講に移動してもらいました。ところが、いざ実施の段階になりますと、二つの問題が明らかになりました。

第一は、学生全てがオンライン教育に対応した情報端末と情報環境を備えていなかった事です。第二は、私のような情報機器に疎い先生にとっては、動画配信も含む双方向の授業など技術的に困難であるという事がはっきりしました。第一の問題については、全学生

に対して一律 5 万円の修学支援金の支給によって、第二の問題についてはパワポや動画の作成、そしてズームやチームズの設定の仕方などの研修を開催し対応する事となりました。今後、第二波、第三波の襲来も予想されているところから、オンライン教育は今後も維持せざるを得ないと思われます。従って、今後の大学教育は従来の対面授業と放送大学的なオンライン教育とを組み合わせたような形態になっていくのではないのでしょうか。

変化は時代の流れとともに、避けられないものです。変えてはいけない大切なものは何か、そして環境変化に対応して変えていかなければならないものは何か、が問われているように思います。今までの生物の歴史は、環境変化に対応し、自らを変化・適応してきたものだけが生き残ってきたと言われています。組織、企業、そして大学も例外ではありません。ウイルス禍をきっかけに、日本では新しい大学像への模索が始まったと思われます。

3) 出会いは偶然ではない

今年の入学式で、私は新入生の皆さんに語りたかったことがありました。それは、人生では一歩踏み出す勇気が必要であること、そして人と人との出会いは偶然のように見えますが、決して偶然ではないということです。出会いとは、自分が大切にしていたものが何かのきっかけで触発され、見えない糸で導かれるような形で一歩踏み出した結果なのかもしれません。また、出会いは偶然であってもそこから何が生まれるかは、偶然ではない、ということです。

学生生活では、「一歩踏み出す勇気」から学びが始まります。日本の文化を良く理解し、凜とした美しさを持ち、そして「自律し自立した女性」を目指して、これからの学生生活をスタートしてください。教養とは、多くのことを知っているという意味ではありません。真の教養とは、「自分を見つめるもう一人の自分を持つこと」ではないでしょうか。何が起るか予測できない時代、つまり不確実性の時代にある私たちは、今まで以上に真の教養と自らの力によって個人を確立しなければなりません。

4) 対面授業の再開を目指して

新入生だけでなく、在校生の皆さんも大学が閉鎖された今日の状況に当惑していると思います。とりわけ 4 年生の皆さんは、就職活動の時期を迎え不安な毎日を過ごしているのではないのでしょうか。現在、就職課がこのような皆さんの不安に対応すべく、WEB その他で個別相談のコーナーを設置しています。大学の HP にアクセスし、それぞれの部署の掲示を参考にしてください。

今後は、政府、文科省の指示に従って、図書館やPC教室の一部開放、新入生の学科別オリエンテーションの実施、そして段階的な対面授業のスタートを通じて、本来の大学教育の再開を目指していきます。跡見学園女子大学は、保証人の皆様から託されたご息女の教育に全力を尽くし、どのような状況でもその社会的責任を果たしていく所存です。今後ともよろしくお願いします。